

科目	学年・小学科	単位数
商業・財務会計Ⅱ	2学年・会計ビジネス科	3
教科書	実教出版「財務会計Ⅱ」	
副教材	財務会計	

## 1. 学習目標

<p>財務会計に関する知識と技術を習得させ、会計責任を果たすことの重要性について理解させるとともに、会計情報を提供し活用する能力を育てる。</p>
---

## 2. 学習方法

<p>○予習・次時の学習内容を問題集を使用して工夫して予習をおこなうこと。                  ○復習・授業内容の定着をはかるため、適宜課題を課し小テスト等を実施する。                  ・宿題には意欲的に取り組み、提出日に遅れないように提出する。                  ○授業・主体的に学習する姿勢を持つ。                  ・商業教育の総仕上げとして専門的な知識と技術の深化並びに総合化を目指す。                  ・自らビジネスに関する課題を発見して解決する能力や態度を身につける。                  ・グループでの作業学習やグループやクラスでの発表を通して、考えたことを表現する機会を設ける。主体的に考察させる。                  ○財務会計Ⅰの学習を基礎とし、講義と演習を中心に知識と技術を身に付ける。</p>
---

## 3. 評価の観点と趣旨

①	関心・意欲・態度	実務や新しい分野の会計に関心を持ち、基本的かつ実践的な知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、会計を活用して企業の実態を的確に捉えることができる態度を身に付けてる。
②	思考・判断・表現	実務や新しい分野の会計について、疑問を持ち自ら思考を深め、基礎的・基本的な技術と知識を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。
③	技能	実務や新しい分野の会計に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現できる。
④	知識・理解	実務や新しい分野の会計に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、新会計基準や税法の基本的な考え方・処理など理解している。
⑤		

科目名	学年・小学科	単位数
財務会計Ⅱ	2学年・会計ビジネス科	3

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1編 財務会計の基本理念と会計基準	第1章財務会計の基本理念 1財務会計の目的 2財務諸表の構成要素 3財務諸表の構成要素の認識と測定	○			○		○財務報告の意味とその目的について理解できる。 ○財務報告における情報の特性、すなわち意思決定有用性について理解できる。 ○財務諸表の構成要素の意味および構成要素の個々の定義について理解できる。 ○財務諸表の構成要素の認識と測定について理解できる。 ○資産負債アプローチと収益費用アプローチを理解できる。 ○わが国の会計基準の特徴と会計基準の国際的統合の流れを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・取組状況</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループ学習</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・自己評価</li> <li>・単元テスト</li> <li>・課題提出</li> <li>・定期考査</li> <li>・問題演習</li> </ul>
		第2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ 1資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味 2資産負債アプローチ・収益費用アプローチと利益計算	○			○			
第3章 会計基準の国際的統合 1わが国の会計基準 2会計基準の国際的統合 3わが国の会計基準の特徴と国際会計基準への対応		○	○		○				
前期末	第2編 財務会計の実際	第4章 資産会計 1資産の評価基準 2資産の評価方法 3減損の会計処理	○	○	○	○	○資産の評価基準である原価基準と時価基準について整理できているか。 ○割引現在価値の計算技法、金融資産評価、棚卸資産の評価方法について理解できているか。 ○有形・無形固定資産の評価方法について理解できるか。 ○減損の会計処理について理解できているか。		
		第5章 負債会計 1負債の意味と評価 2社債の期末評価と償還 3退職給付引当金	○	○	○	○	○金融負債の評価方法、引当金概要と処理方法が理解できたか。 ○社債の期末評価と償還処理、退職給付引当金に関する会計処理が理解できたか。		
第6章 純資産合計 1純資産の意味と分類 2新株予約権 3分配可能額の計算 4株主資本等変動計算書の作成		○	○	○	○	○純資産の意味、新株予約権の意味と会計処理について理解できたか。 ○分配可能額の計算が習熟できたか。 ○かぶぬし			
第7章 リース会計 1リース取引の意味と分類 2ファイナンス・リース取引の会計処理 3オペレーティング・リース取引の会計処理		○	○		○	○ファイナンス・リース取引会計処理を理解できたか。 ○オペレーティング・リース取引の会計処理を理解できたか。			
後期中間	第3編 企業活動の展開と財務会計	第8章 税効果会計 1利益と課税所得 2税効果会計の意味 3一時差異と繰延税金資産・負債	○	○		○	○利益、課税所得、益金、損金など法人税の計算が理解できたか。 ○税効果会計の意味と一時差異と繰延税金資産・繰延税金負債を理解できたか。		
		第9章 外貨換算会計 1外貨建取引の意義 2為替換算と為替差損益 3外貨建取引の基本的な会計処理 4外貨建項目の決算時の会計処理	○	○	○	○	○外貨建取引の意義、為替換算と為替差損益について理解させる。 ○外貨建取引の基本的な会計処理、外貨建項目の決算時の会計処理について理解できたか。		
	第4編 企業結合の会計	第10章 キャッシュフロー計算 1キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性 2キャッシュ・フロー計算書の表示区分 3キャッシュ・フローの表示方法 4キャッシュ・フロー計算書の作成手続き 5直接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例 6間接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成例	○	○		○	○キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性、表示区分、表示方法について理解できたか。 ○直接法、間接法によるキャッシュ・フロー計算書が作成できるか。		
		11企業結合会計 1企業結合会計の意味 2合併会計	○	○		○	○企業結合会計の意味が理解できたか。 ○吸収合併会計の処理について理解できたか。		
		12連結財務諸表の作成(その1) 1支配の獲得 2持分の変動 3支配獲得までの段階取得 4支配獲得後の追加取得 5子会社株式の一部売却 6連結財務諸表の作成	○	○	○	○	○支配獲得の意味と支配獲得日の処理について理解できたか。 ○子会社株式の支配獲得までの段階取得と支配獲得後の追加取得の処理について理解できたか。 ○連結財務諸表の作成について理解できたか。		

後期末	第4編	企業結合の会計 13連結財務諸表の作成(その2)	1持分法の意義 2持分法の適用対象 3持分法の会計処理	○	○	○	○	○持分法の意義とその適用について理解できたか。 ○持分法の基本的な会計処理、投資消却差額償却・当期純利益・配当金の計算が理解できたか。
	第5編	財務諸表の活用 14財務諸表の活用	1企業グループの現状把握 2株価の判断材料 3企業価値の評価	○	○		○	○企業グループの現状把握のアウトラインが理解できたか。 ○株主価値や株価指標など株価の判断材料について理解できたか。
	第6編	監査と職業会計人 15監査と職業会計人	1二つの法律と監査のしくみ 2財務諸表監査の目的とリスク・アプローチ 3監査のプロセスと監査手続き 4監査意見と監査報告 5監査の品質管理 6職業会計人の社会的役割と倫理	○	○		○	○会社法及び金融商品取引法に基づく監査のしくみ、財務諸表監査の目的リスク・アプローチについて理解できたか。 ○監査のプロセス、報告書、品質管理、職業人会計の社会的役割について理解できたか。